

2組クラス会、新鹿沢温泉で開催！（11月21,22日）

群馬県嬭恋村の新鹿沢温泉「鹿の湯つちや」は、土屋（旧姓野口）実君（2組）の経営する老舗旅館である。2組のクラス会が同館で11月21、22日に開催された。

同館でのクラス会は今回で4回目となる。（最初は1984年2月開催）

21日（木）の午後上田駅に集合した8名は、土屋君の運転するマイクロバスに乗車、真田町にある「真田氏歴史館」に立ち寄り、真田氏縁の甲冑や屏風絵を鑑賞する。

その後バスは、冠雪の浅間山を眺めながら収穫の終わった広大な嬭恋キャベツ畑を通り抜け、目的地の新鹿沢温泉に。現地では3名が合流して総勢11名が集合した。

宴会は幹事の丸山幸雄君の進行で、関東代表の上原昇の挨拶、幹事の横山勇徳君の乾杯発声で始まる。続いて参加者の近況報告は、退職後の生活ぶりや闘病記などなど。オーナーのはからいで宴会は時間制限無しで夜更けまで盛り上がる。

翌22日（金）は、土屋君からお土産に嬭恋キャベツを持ちきれないほど頂き、3台の車に分乗して出発する。

途中、田代湖を通過し、積雪の湯の丸高原までドライブ、そこで一休みした後、それぞれの車は再会を期して目的地へと別れた。

すっかりお世話になった幹事団（横山、丸山君と直前に都合が悪くなり欠席の堀内晶一君）、そして土屋君に感謝の二日間であった。

（13年11月23日、上原記）

【写真説明】

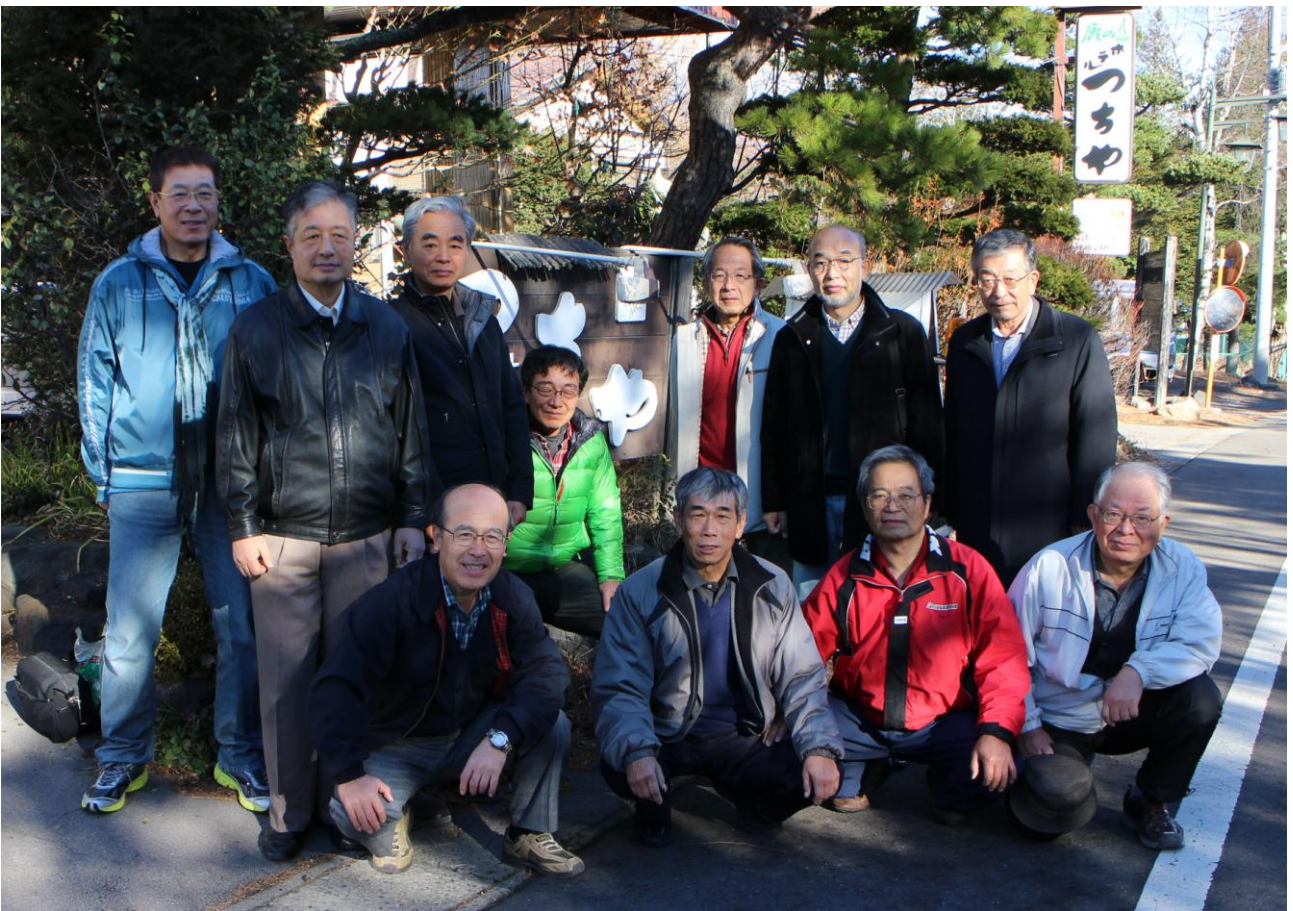
- ① 真田氏歴史館にて
- ② 宴会場にて（前列左から上原、小宮山、林、丸山、上野、日野、龍野、
後列左から土屋、関、菊地、横山）
- ③ 「旅館つちや」前にて



写真① 真田氏歴史館にて



写真② 宴会場にて



写真③ 「旅館たちや」前にて